

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 8年 3月 12日				
カムカムせんだい						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・作業するテーブルを変える、パーティションを活用するなどの工夫を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・適切な職員数である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・居室に役割を与えている。 ・生活空間と遊ぶ場所が分かれている。 ・階段や段差が多いが、声かけや、同行しての手助けをすることによって人的配慮が行われている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・清潔を保ち、過ごしやすい環境づくりを目指している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・個別に利用できるお部屋は準備できている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・日々のミーティングの中で活動内容の振り返りや、様子を伝達している。 ・課題設定を計画の原案の会議よく話し合っている。情報を集め、目標設定のための判断材料にしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・自己評価表を用いて意向を把握して、改善するように努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・個別に面談を行い、日々の業務の改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	・外部の業者への評価依頼を行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・法人や事業所の中での研修が行われている。 ・外部の研修へ参加した者からの周知研修が事業所内で行われている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・適切に公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・ご本人と保護者の方から意見をいただいて計画に反映するようにつとめている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・計画作成の会議を行い、職員同士の共通理解を得るようにつとめている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・確認しやすい場所に配置し、閲覧できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・特定の様式を準備して、その様式を用いて資料作成をしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・生活の中の困りごとや本人の強みを分析し、ご本人が地域社会での生きづらさを軽減していけるように、具体的な目標を設定している。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・支援計画の原案作成の会議を行い、意見を求め、反映させている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・季節の移り変わりを感じられるような活動へのお誘いや、活動に広がりが出るように気をつけてはたらきかけをしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・個別での過ごし方と集団での過ごし方を組み合わせ合わせて計画を作成して支援を行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・ミーティングを行って個々の役割を確認している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・ミーティングの中で行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・日々の支援の記録をし、確認している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・計画前のモニタリングを行い、内容を職員間で確認している。 ・大きな変化が見られたときにも計画の見直しを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5		・自立支援と日常活動の充実に重点を置いている。 ・地域のお祭りや、イベントへ参加し地域活動へ参加している。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・複数のものから一つを選ぶことから、自己選択、自己決定を行う力を育てている。 ・先の見通しを伝え、物事を選ぶための手伝いを行っている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・状況をよく理解したものが参加している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・ご家族や相談支援事業者を通じて情報交換を行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・ご家族を通じてお知らせをいただいております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		・相談支援事業の方を通じてお知らせいただいております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		・移行支援会議に出席し、情報提供をおこなっております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		・研修会へのお誘いや、情報提供などをうけています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	・事業所内での開催は行っていません。 ・いただいたお知らせや情報などについて、ご家族に対してお知らせをしています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	・自立支援協議会への参加は行っていません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・連絡ノートや引き渡しの時、個別の電話対応にてお話をさせていただいています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	・他の機関が行っている活動のお知らせをご家族に向けておしらせを行っています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・ご契約時に丁寧な説明をさせていただいております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・個別支援計画作成の前にご家族のご要望の聞き取りをさせていただいております。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・個別支援計画の内容についてご家族に説明させていただいています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・面談や家族からの電話相談を受けてお話をさせていただいています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		5	・保護者の方からいただいたチラシの配布などを行うことでお手伝いをさせていただいています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・苦情申し立ての仕組みをつくっています。 ・契約書の中にも記載しております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・毎月のお知らせを発行させていただいております。 ・HPにて行事の予定についてお知らせをしています。 ・SNSを使った情報発信のための準備を行っております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・個人情報の扱いに関して、保護者の方と契約の時に、書面にてご説明をして、同意をいただいています。 ・廃棄する書類は専門の業者へ依頼などを行っています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・ご家族の方や、学校、相談支援センターを通じて、意思をくみとるための情報収集を行い役立てています。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。		5	・地域の方を招待するイベントなどを行っていません。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・各種マニュアルの内容についてご家族にお知らせしてはしません。 ・防災の訓練や研修を行い、マニュアルの内容を職員間で共有しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・図上訓練だけではなく、定期的な避難誘導の訓練を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		・ご家族や相談支援事業所の方より、情報提供をいただいて上で確認をしています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・ご家族からの情報提供をお願いしております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・日頃の中での想定できる事態に対しての安全管理について、ミーティングや研修を行っています。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・ご家族の方への安全計画の内容は公開していません。慈雨うよう事項説明書の中に想定される内容についての想定されることに対する対応は記載しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・ヒヤリハット事例を共有し、再発防止につとめている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・虐待に関する研修に関しては年に二回おこなっています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・虐待に関する研修とともに、身体拘束というものについて職員間での共有を行っています。	